



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	プロジェクト研究D（野生生物の保護管理に関する研究）中間報告（I）：北三林における1990、1991年度 大型鳥獣記録野帳の記入状況
Author(s)	プロジェクト研究Dワーキンググループ
Citation	北海道大学演習林試験年報，10，44-45
Issue Date	1992-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/72958
Type	departmental bulletin paper
File Information	1991_1-22.pdf



I-22 プロジェクト研究D(野生生物の保護管理に関する研究)中間報告(I)

—北三林における1990、1991年度
大型鳥獣記録野帳の記入状況—

プロジェクト研究Dワーキンググループ

はじめに

1990年度より、北大演習林のもつ広大な研究フィールドを生かして「野生生物の保護管理に関する研究」(プロジェクト研究D)が進められている。当面の主な研究課題は、①森林の長期変化とそれに伴う野ネズミ群集の動態、②生物相のリストの作成、とくに大型鳥獣の目撃データの蓄積の2点である。今回は、プロジェクト研究の進行状況として、天塩、中川および雨龍の道北地方の演習林の1990、1991年度の大型鳥獣の記録野帳を整理し、記載された野生動物のリストをまとめたので以下に報告する。

1. 調査方法

「大型鳥獣記録野帳」を、各地方演習林の庁舎、作業所および官用車等に配備し、野生動物の目撃時に随時記入し、あわせて目撃した位置を各地方演習林の2万5千分の1の地図上に記録していただいた。なお、本野帳のチェックシート欄には演習林職員の多くが識別しうると予想される動物のみを選んで載せており、その他の動物に関しては種名を直接記入するようにしている(試験年報9号参照)。

2. 結果

1990年5月から1991年12月までの期間に、天塩24、中川93、雨龍100の合計217件の目撃例が野帳に記入された。これらの目撃件数を季節毎に整理してみると、晩冬から初春にかけての期間(1-4月)に48件(22%)、晩春から秋の(5-10月)148件(68%)、そして晩秋から初冬の(11-12月)21件(10%)野帳に記入された。

本野帳の記入頻度を各演習林別に上記の季節毎に表に示した。魚類、鳥類および哺乳類の合計33種が記載された。中でも、ヒグマ、エゾシカ、エゾタヌキおよびキタキツネ等の、大型の哺乳類の目撃例が多かった。本調査は開始後間もないため、動物の種類、季節および地方林による記入頻度がばらついていると予想され、記入数の多寡をもって各種の生息密度の指標とすることはできない。しかし、天塩、中川両演習林でヒグマやエゾシカの目撃例数が相対的に多いのに対し、雨龍地方演習林ではこれらの目撃例数が少なく興味深い。また、道北地方のエゾシカ個体群は一時絶滅状態にあったと言われているが、今回いずれの演習林においても目撃されており、また、冬季においても確認されていることから、林内もしくは周辺部に越冬地があるものと考えられる。

おわりに

大型鳥獣は短期間の調査ではその多寡や分布を明らかにすることが困難であり、また現状ではその調査に多大な労力をさくのは難しい。しかし、このような野帳記入法による調査が継続され、記入の頻度が多くなれば演習林内の動物相が明らかになり、ヒグマやエゾシカ等については個体数の増減が把握できるようになるものと期待される。職員各位の積極的な協力をお願いしたい。

表 天塩、中川および雨龍地方演習林において
野帳に記入された動物のリスト

演習林	動物種名	季節別記入数			
		1-4月	5-10月	11-12月	計
天塩	ヒグマ	0	4	0	4
	エゾシカ	0	4	0	4
	エゾタヌキ	0	2	1	3
	キタキツネ	0	2	1	3
	バンドリ(エゾモモンガ)	1	0	1	2
	クロテン	0	0	1	1
	エゾリス	0	0	1	1
	クマゲラ	0	1	0	1
	エゾライチョウ	0	1	0	1
	ソバメ(アマツバメ?)	0	1	0	1
	イトウ	0	2	0	2
	サクラマス	0	1	0	1
	計	1	18	5	24
中川	ヒグマ	0	15	0	15
	エゾシカ	7	8	2	17
	エゾタヌキ	2	4	0	6
	キタキツネ	0	5	0	5
	バンドリ(エゾモモンガ)	2	0	2	4
	クロテン	4	0	0	4
	エゾリス	1	0	0	1
	シマリス	0	1	0	1
	エゾユキウサギ	1	2	0	3
	オコジョ(エゾイタチ)	0	1	0	1
	クマゲラ	2	1	0	3
	エゾライチョウ	1	2	0	3
	オジロワシ	1	3	2	6
	ノスリ	1	4	0	5
	シマフクロウ	1	0	0	1
	フクロウ	0	1	0	1
	ミサゴ	0	2	0	2
	オシドリ	1	1	0	2
	ハクチョウ(オオハクチョウ?)	1	0	1	2
	カワアイサ	2	0	0	2
	カワガラス	0	1	0	1
	コガモ	1	0	0	1
	キビタキ	0	2	0	2
	カケス	0	2	0	2
	ヤマゲラ	1	0	0	1
	ソグミ	0	1	0	1
	サケ	0	1	0	1
	計	29	57	7	93
雨龍	エゾシカ	1	7	2	10
	エゾタヌキ	4	22	0	26
	キタキツネ	1	16	0	17
	クロテン	4	5	2	11
	エゾリス	0	0	1	1
	シマリス	0	1	0	1
	ユキウサギ	1	1	2	4
	ミンク	1	0	0	1
	クマゲラ	4	7	2	13
	エゾライチョウ	0	9	0	9
	アマツバメ	0	1	0	1
	フクロウ	1	1	0	2
	ミサゴ	1	0	0	1
	オシドリ	0	1	0	1
	ヨタカ	0	1	0	1
	ギンザンマシコ	0	1	0	1
	計	18	73	9	100

附表 天塩、中川および雨龍地方演習林
で目撃された動物のリスト

魚類		
サケ目サケ科	イトウ	<i>Hucho perryi</i>
	サクラマス	<i>Oncorhynchus masou</i>
	サケ	<i>Oncorhynchus Keta</i>
鳥類		
ガンカモ目ガンカモ科ハクチョウ		<i>Cygnus sp</i>
	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>
	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>
	コガモ	<i>Anas crecca</i>
ワシタカ目ワシタカ科オジロワシ		<i>Haliaeetus albicilla</i>
	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>
	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>
フクロウ目フクロウ科シマフクロウ		<i>Ketupa blakistoni</i>
	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>
スズメ目カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>
	カワガラス科カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>
	ヒタキ科	<i>Ficedula narcissina</i>
	ソグミ	<i>Turdus naumanni</i>
	アトリ科	<i>Pinicola enucleator</i>
キツツキ目キツツキ科クマゲラ		<i>Dryocopus martius</i>
	ヤマゲラ	<i>Picus canus</i>
アマツバメ目アマツバメ科アマツバメ		<i>Apus pacificus</i>
キジ目ライチョウ科	エゾライチョウ	<i>Tetrastes bonasia</i>
ヨタカ目ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>
哺乳類		
兎目ウサギ科	エゾユキウサギ	<i>Lepus timidus</i>
齧歯目リス科	エゾリス	<i>Sciurus vulgaris</i>
	シマリス	<i>Tamias sibiricus</i>
	エゾモモンガ	<i>Pteromys volans</i>
食肉目クマ科	ヒグマ	<i>Ursus arctos</i>
	イヌ科	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
	キタキツネ	<i>Vulpes vulpes</i>
	イタチ科	<i>Martes zibellina</i>
	オコジョ	<i>Mustela erminea</i>
	ミンク	<i>Mustela vison</i>
偶蹄目シカ科	エゾシカ	<i>Cervus nippon</i>

(文責 中川地方演習林 杉山 弘)